



アート・コミュニティスペース

OPEN!!
古町通6番町「ふるまちモール6」内
新潟市中央区古町通6番町980番地
パリュスビル1階

ふるまち アートスタジオ

「ふるまち・アートスタジオ」とは？

古町通の空き店舗を活用し、アート活動を通じて地域の皆さんと交流を図り、アートの力でまちに新たな風を吹き込み活性化につなげるアート・コミュニティスペースです。

市外のアーティストが滞在し、公開制作などを行うアーティスト・イン・レジデンス事業、ワークショップや展示会といったアートイベントなどを通じて人と地域とアートをつなげるアートコミュニティ事業を実施します。

アーティスト・イン・レジデンス事業

市外からアーティストを招き、1か月あまり古町界わいに滞在してもらい、スタジオでアート作品の公開制作と成果発表を行います。制作の過程では、ワークショップや共同作業など市民の皆さんとの交流を交えながら一緒に作品をつくりあげていきます。

<参加アーティスト>

しげい けんじ
茂井健司さん

実施期間：制作 10月26日(日)～11月19日(水)
展示 11月22日(土)～11月30日(月)



ある「場所」とそこに立つ「人」との間に立ち現れる「つながり」やコミュニケーションをテーマに体験・参加型の作品制作やワークショップを展開している。『写す・映す・移す』ものと位置づける鏡やガラスを主な素材とすることにより「見る」ことを問い直しつつ、離れているものを隣り合わせにしたり俯瞰したりする仕組みを作ることで本来身近なものへの親しみや楽しさが生まれる場づくりを目指している。

1961
1987
2000
～2014

高知県生まれ、
東京芸術大学大学院美術研究科油画修了
国内外で精力的に活動
現在は立川文化芸術のまちづくり協議会にて活動中

アートコミュニティ事業

アートスタジオは常時みんなのアート活動の場であり、コミュニティの場所になります。

イベントを実施していなくても、人と地域とアートをつなげる場所として、みんなが集まる場所、みんなの居場所となるような空間づくりを目指します。

<参加団体>

手部(てぶ)



水と土の芸術祭 2012 の藤浩志氏の作品で生まれた「部活」のひとつ。「部室」と称した場所を拠点に、こども向けワークショップなど、部員によるイベントを企画・実施。手仕事から新しい遊びをつくり出し、みんなで楽しみ、多くの人が集える場所を作り出す。つながりと活動は芸術祭後も続き、2014年10月現在は新たな部室を探して奔走中。

つくることに関わることが好きな部員たちは県内外、老若男女を問わず、現在約100名。若手アーティストも多く在籍。

2012 水と土の芸術祭 2012において各種イベントの開催
2013～ こども創造センターでこどもワークショップの開催
2014 にいがた妖怪まつり参加



2011 プラザギャラリー「透家」
『透かしてみる』- 間に優しさ 光の -



2013 ギャラリーナカムラ「透家」



2012 水と土の芸術祭 2012



2014 にいがた妖怪まつり

まちなかアート・スタジオ実行委員会

お問い合わせ：事務局 025-226-2565 (新潟市文化政策課内)
<http://www.city.niigata.lg.jp/kanko/bunka/shinkou/artstudio.html>

ふるまち アート

検索